



変わる時代の確かな視点

News Release

《東京大学・ニッセイ基礎研究所共同研究プロジェクト》

原子力発電所事故避難者のこころの健康と ソーシャル・キャピタル

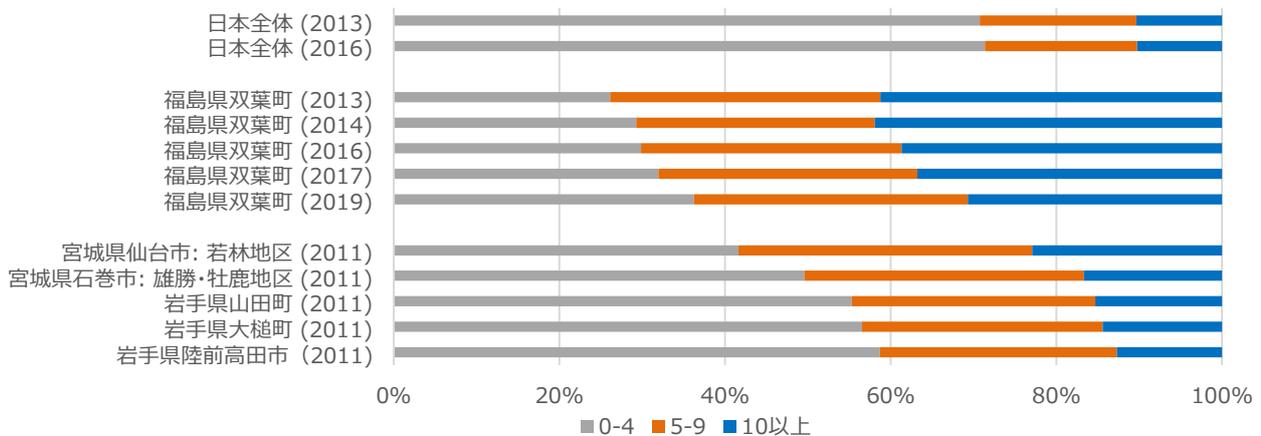
— 福島県双葉町民を対象とした継続調査結果公表のお知らせ —

2020年2月7日

株式会社ニッセイ基礎研究所（代表取締役社長：手島恒明）は、東京大学大学院経済学研究科教授澤田康幸と弊社研究員の岩崎敬子との共同研究（東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクト）として、東日本大震災による原子力発電所の事故で全町民が避難を余儀なくされた福島県双葉町の全世帯主を対象に2013年から5回行われてきたアンケート調査（過去実施：2013年7月、2014年12月、2016年7月、2017年12月、2019年7月）の調査結果を公表いたします。本研究では、これまで主に以下のことが明らかになっています。

- (1) 図のように、双葉町民は他の被災地での調査と比較してもこころの健康状態を損なう恐れが大きい状態に置かれている可能性があります。震災から8年以上が経ち、少しずつ改善傾向が見られますが、回復にはより長い時間がかかる可能性があります。

図. 日本全体、双葉町、その他被災地の心理的ストレスの度合い (K6) の分布



注) K6 は心理的ストレスの度合いを示すもので、大きな値ほどストレスの程度が高いと考えられます。出典) 双葉：東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクトによるこれまでの調査。日本全体：国民生活基礎調査（2013, 2016） その他地域：東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査（研究代表者：林謙治）2012



RESEARCH



変わる時代の確かな視点

- (2) 中でも仮設住宅に長期にお住まいの方はこころの健康を損なう恐れがより大きい状態に置かれていた可能性がありましたが、仮設住宅から復興公営住宅に転居された方が多くなった現在も、復興公営住宅の住民の方のこころのストレスは大きい傾向があり、継続的なサポートが重要と考えられます。
- (3) 震災による健康状態や所得の変化について、悪化・減少幅が大きいほど幸福感も悪化している傾向があり、震災前の幸福感の状態に回復するには十分な補償が必要であると考えられます。
- (4) 震災で双葉町民の社会関係資本が減少させられ、その回復には長い時間がかかる可能性があります。
- (5) 震災前からのつながりを保つこと、震災後、趣味の会やボランティア活動などに参加することによってこころの健康状態を良好に保つ助けになる可能性があります。
- (6) 避難先の地域の住民との関係構築は少しずつ進んでいる傾向が見られますが、その傾向は非常に緩やかで、現在も重要な課題であると考えられます。
- (7) 被災による現在バイアス（先送り傾向）の増大が、こころの健康の悪化につながる可能性があります。しかし、住民同士の交流や規則的な健康行動を促す政策がそうした健康悪化を防ぐ可能性があります。

本調査結果は、調査にご協力頂いた20%前後の双葉町の世帯の方のご回答のみを集計・分析した結果で、この結果が双葉町民の方全員の傾向を表すものではございません。震災という大変な状況が起こったあとにご協力いただいた調査であるため、回答者の内訳は一般的なアンケート調査とは大きく異なっている可能性もございます。その為、健康状態の自己評価についての集計や、こころの健康状態についての集計においても、過大評価がされている可能性がございます。結果の解釈には十分な注意が必要であり、この調査結果のみによる断定的な判断は避ける必要がありますことにご留意いただければ幸いです。

※ 詳細については以下のレポートをご参照ください。

2019年7月調査 (<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=63614?site=nli>)

2017年12月調査 (<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=63613?site=nli>)

2016年7月調査 (<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=63612?site=nli>)

2014年12月調査 (<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=63611?site=nli>)

2013年7月調査 (<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=63610?site=nli>)

<この件に関するお問い合わせ>

株式会社 ニッセイ基礎研究所

102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-7 | www.nli-research.co.jp

経営企画部・広報担当 三輪恭嗣

Tel.03-3512-1800 | ymiwa@nli-research.co.jp

保険研究部 岩崎敬子

Tel.03-3512-1882 | kiwasaki@nli-research.co.jp



RESEARCH